

やさしい中学地理 2-1 前半(p40~p58)チェック問題 氏名

(1) 世界の気候帯は大きく5つに分けることができる。低緯度の地域から高緯度の地域に向かって
 [→ → → →]と分布している。

(2) 1年を通して気温が高い気候を[① 帯]という。その中でもジャングルのような[②]とよばれる樹木が発達した地域の気候は[③ 気候]に分類される。この地域では、森林などを焼いて畑をつくり、焼いたあとの灰を肥料にして農作物をつくる[④ 農業]で、イモなどを栽培している。一方で地球規模の環境問題にもなっている。床が[⑤ 高い / 低い]住居が多い。また、降水量が多い雨季と降水量が少ない乾季に分かれ、丈の高い草が生える草原が広がる地域の気候は[⑥ 気候]に分類される。

(3) 緯度が20~30度あたりは降水量が少ない[① 帯]である。その中でも1年を通して降水量がほとんどなく、水を得られるオアシスでのみ草や樹木が育つ地域の気候は[② 気候]に分類される。また降水量が少しあり、丈の短い草が生える草原が広がる地域の気候は[③ 気候]に分類される。モンゴルで遊牧生活を送っている人の住居は[④]と呼ばれる。雨がほとんど降らない地域では、土をこねて形をつくり、それを強い日差しで乾かしてつくる[⑤]の住居が多い。

(4) 日本も位置する中緯度地域には、温和な気候の[① 帯]が広がっている。四季が[② ある / ない]。北半球と南半球では、季節が[③ 同じ / 逆]である。季節によって吹く方向が変化する風を[④]という。夏は[⑤ 海から陸 / 陸から海]に、冬は[⑥ 海から陸 / 陸から海]に風が吹く。日本など、この風の影響が大きく、夏は高温多湿となる気候を[⑦ 気候]という。また1年中西から吹く風を[⑧]という。ヨーロッパ北西部など、この風と近くを流れる暖流の影響を強く受ける気候を[⑨ 気候]という。降水量が安定しており、年間の気温差が小さいのが特徴である。また北アメリカ大陸西岸など、夏は乾燥して気温が高くなり、冬は温暖でやや雨が多くなる気候を[⑩ 気候]という。夏は乾燥に強い[⑪ や]などを栽培する。

(1) 熱帯 → 乾燥帯 → 温帯 → 冷帯 → 寒帯		
(2)① 熱帯	(2)② 熱帯雨林	(2)③ 熱帯雨林気候
(2)④ 焼畑農業	(2)⑤ 高い	(2)⑥ サバナ気候
(3)① 乾燥帯	(3)② 砂漠気候	(3)③ ステップ気候
(3)④ ゲル	(3)⑤ 日干しれんが	(4)① 温帯
(4)② ある	(4)③ 逆	(4)④ 季節風
(4)⑤ 海から陸	(4)⑥ 陸から海	(4)⑦ 温暖湿潤気候
(4)⑧ 偏西風	(4)⑨ 西岸海洋性気候	(4)⑩ 地中海性気候
(4)⑪ オリーブやぶどう		